スーパーオイルクーラーキット　取扱説明書

商品番号：０９－０７－２２１２（４Ｆｉｎ）
　　　　：０９－０７－２２１３（３Ｆｉｎ）

適応車種及びフレーム番号

Ａｐｅ５０	:ＡＣ１６－１０００００１～
Ａｐｅ５０（ＦＩ）	:ＡＣ１６－１６０００01～
Ａｐｅ５０（ＦＩ Ｔｙｐｅ－Ｄ）	:ＡＣ１８－１０００００１～
Ａｐｅ１００	:ＨＣ０７－１０００００１～
Ａｐｅ１００ Ｔｙｐｅ－Ｄ	:ＨＣ１３－１０００００１～

（当社製ボアアップシリンダーもしくはダイカストクラッチカバー装着車両に限る）

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品の取り付けには、タンク脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に作業を行って下さい。
◎当製品は、当社製ボアアップシリンダー（シリンダー右側面部にオイルライン取出し穴を持つもの、ビッグフィン含む）もしくはダイカストクラッチカバーに取り付ける事が出来ます。
また、ボアアップシリンダーとダイカストクラッチカバーの両部品を装着している車両はオイルの取り出し方式を選択する事が出来ます。
◎ダイカストマグネシウムクラッチカバー装着車両に本キットを取り付けする場合は、カバー部に傷や塗装が剥がれない様に注意して作業を行なって下さい。塗装が剥がれてしまった場合、剥がれた部分のみでも再塗装して下さい。

⚠注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

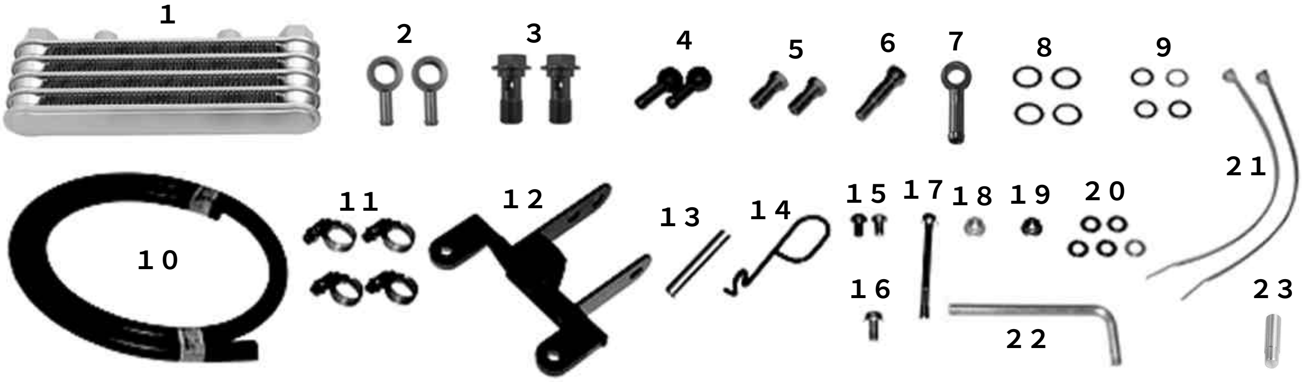
⚠警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
1	オイルクーラーCOMP.（3Fin）	1	00―07―0045	1
	オイルクーラーCOMP.（4Fin）	1	00―07―0004	1
2	オイルユニオン　M12	2	15620―000―T20	1
3	バンジョーボルト　M12	2	00―07―0034	1
4	バンジョー	2	15660―000―T01	1
5	バンジョーボルト　M10（ショート）	2	00―07―0038	1
6	バンジョーボルト　M10（ロング）	1	15531―GEY―T00	1
7	バンジョー（30°）	1	15661―KTK―T00	1
8	シーリングワッシャ　14mm	4	00―07―0042	5
9	シーリングワッシャ　10mm	4	00―07―0010	10
10	オイルホース（1300mm）	1	00―07―0012	1
11	ホースクランプ	4	00―00―0052	2
12	オイルクーラーステーCOMP.	1	15660―GEY―T00C	1
13	クーラーステーディスタンスカラー	1	15664―GCR―T00	1
14	フロントケーブルガイド	1	51530―GEY―T00	1
15	ボタンヘッドスクリュー　6×10	2	00―00―0092	5
16	ボタンヘッドスクリュー　6×25	1	00―00―0126	5
17	フランジボルト　6×65	1	00―00―0279	2
18	フランジナット　6mm	1	00―00―0173	6
19	フランジUナット　6mm	1	00―00―0081	6
20	プレーンワッシャ　6mm	5	00―00―0086	10
21	インシュロックタイ　250mm	2	00―00―0202	10
22	6角棒レンチ　4mm	1	―――――――	
23	オイルホールプラグ		19331―GEF―T00	1

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

Aug./26/ 09

オイルクーラーキット使用上のご注意

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモユニット（０２－０１－５００２）を取り付けて下さい。
何れも取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意下さい。

～取 り 付 け 要 領～

１．セット内容を確認します。
２．作業に適した工具を用意します。
３．車両をメンテナンススタンド等でしっかりと安定させ、ホンダ純正サービスマニュアルを参考にシート、フューエルタンク、フロントフェンダーを取り外します。
※オイルクーラーを取り付けると、ＳＴＤのフロントフェンダーはフェンダー後部がオイルクーラーと干渉して、そのままでは装着出来ません。フェンダーを干渉しない形状にカットして下さい。
４．フロントフューエルタンクパッド下部の穴にクーラーステーディスタンスカラーを入れます。



５．オイルクーラーステーＣＯＭＰ.でフレームを挟む様に入れます。
フランジボルト６×６５にプレーンワッシャ６mmを入れ、左側よりボルトを通して、プレーンワッシャ６mmとフランジナット６mmを取り付けます。クーラーステーをフレームに押し付けた状態でフランジナットを規定トルクで締め付けます。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



６．オイルクーラーをクーラーステーにプレーンワッシャ６mmとボタンヘッドスクリュー６×１０で取り付け、規定トルクで締め付けます。
トルク：９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）



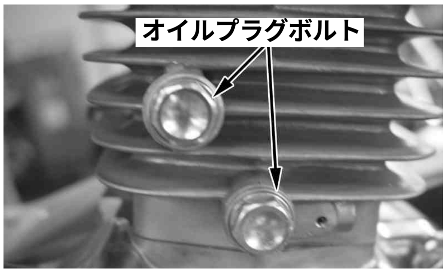
７．バンジョーボルトＭ１２にシーリングワッシャ１４mm、オイルユニオンＭ１２、シーリングワッシャ１４mmの順に通し、オイルクーラー側のシーリングワッシャがオイルクーラーヘッダー（６角部分）の凹部からずれないように取り付けて仮締めします。
※シーリングワッシャがずれた状態でユニオンボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因になります。



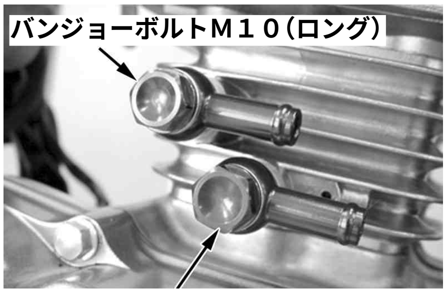
８．お使いになる車両のオイル取り出し方法に応じて、
●シリンダーのオイルラインから取り出す場合　・
●ダイカストクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合の項目に進んで下さい。

●シリンダーのオイルラインから取り出す場合

１．オイル受けを用意して、シリンダー右側のオイルライン取り出し穴のオイルプラグボルトを取り外します。

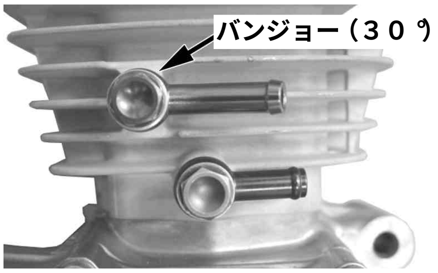


２．バンジョーボルトＭ１０（ロング）に、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、シリンダー上側のオイルラインに仮付けします。
３．バンジョーボルトＭ１０（ショート）に、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、シリンダー下側のオイルラインに仮付けします。
⚠注意：この時、シーリングワッシャが、バンジョーのセンターに来ている事を確認して下さい。ずれたまま取り付けると、オイル漏れの原因となります。



ビッグフィンシリンダーの場合

バンジョー（３０°）をシリンダー上側のオイルラインに装着します。



４．キット付属のオイルホースを、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端にホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けたバンジョーボルトＭ１２と、シリンダーに取り付けたバンジョーに差し込みます。

５．仮付けしてあるバンジョーボルトＭ１２及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整します。

６．バンジョーボルトＭ１２と、バンジョーボルトＭ１０を規定トルクで締め付けます。

バンジョーボルトＭ１２（オイルクーラー側）：２２.５Ｎ・ｍ（２.３ｋｇｆ・ｍ）
バンジョーボルトＭ１０（シリンダー側）：１３～１５Ｎ・ｍ（１.３～１.５ｋｇｆ・ｍ）

⚠注意：オイルクーラー側のバンジョーボルトＭ１２の締め付けは、オイルクーラーヘッダー（６角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

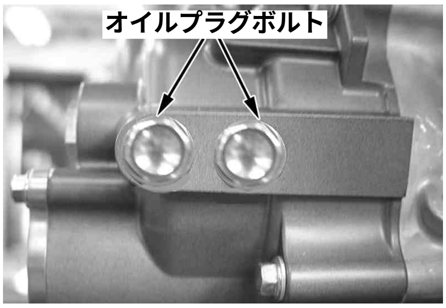
７．ホースクランプを締め付けます。

⚠注意：クラッチカバーキットを取り付けた状態で、シリンダーにオイルクーラーホースを接続した場合は、オイルホールプラグやサーモユニットを絶対に取り付けないで下さい。
オイル通路が遮断されエンジンが破損する可能性があります。

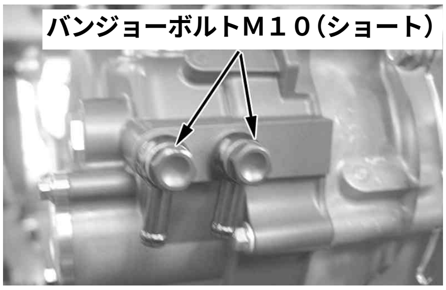
８．取り付け要領９へ進んで下さい。

●ダイカストクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合

１．オイル受けを用意して、クラッチカバー側面部（車両前側）にあるオイルプラグボルトを取り外します。



２．バンジョーボルトＭ１０（ショート）に、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、クラッチカバーに仮付けします。



３．キット付属のオイルホースを、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端にホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けたオイルユニオンと、クラッチカバーに取り付けたバンジョーに差し込みます。

４．仮付けしてあるオイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整します。

５．ユニオンボルトと、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

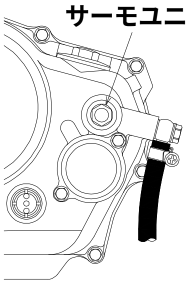
ユニオンボルト（オイルクーラー側）：２５Ｎ・ｍ（２.５ｋｇｆ・ｍ）
バンジョーボルトＭ１０（クラッチカバー側）：１３～１５Ｎ・ｍ（１.３～１.５ｋｇｆ・ｍ）

⚠注意：オイルクーラー側のユニオンボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー（６角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

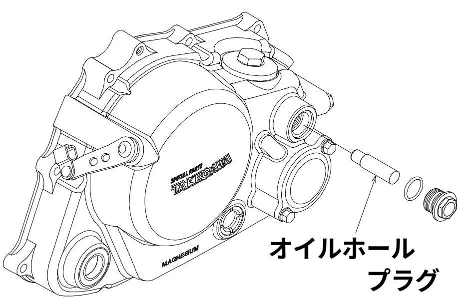
６．ホースクランプを締め付けます。

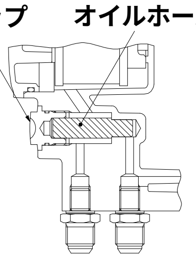
※クラッチカバー側のホースバンドを締め付ける際は必ずクラッチカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。

７．（サーモユニットを取り付ける場合）
ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。
※サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。



（サーモユニットを取り付けない場合）
・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
・サーモスタットホールキャップのＯリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。
トルク１３Ｎ・ｍ（１.３ｋｇｆ・ｍ）





８．取り付け要領９へ進んで下さい。

９．フロントフォークＬ.に付いているフロントケーブルガイドを取り外し、キット内のフロントケーブルガイドに交換し、ボタンヘッドスクリュー６×２５、プレーンワッシャ６mm、フランジＵナット６mmを使用して取り付け、規定トルクで締め付けます。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）
ホンダ純正サービスマニュアルを参考にフロントブレーキパネルからフロントブレーキケーブル、スピードメーターケーブルを取り外し、フロントケーブルガイドに通した後、取外しの逆の手順で取り付けます。
フロントブレーキケーブルのテンションが変わるので、サービスマニュアルを参考にケーブルの遊びを調整して下さい。



１０．スパークプラグを外し、キックを数回踏み下ろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。

１１．エンジンオイルを４段１００ｃｃ／３段８０ｃｃ（オイルクーラー容量）程度追加し、エンジンを掛け、各部よりオイル漏れ等の有無を確認して下さい。
エンジンを止め、約１分後にオイルレベルゲージで基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

⚠注意：エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので十分注意して下さい。

⚠ 注意

クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、（購入時の状態）必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性が有ります。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７ FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

Aug./26/ 09